



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社ココスジャパン 上場取引所 大  
 コード番号 9943 URL <http://www.cocos-jpn.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住田 正則 (TEL) 03(6833)8000  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 高橋 利雄 配当支払開始予定日 平成23年12月12日  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	28,477	3.6	1,794	—	1,792	—	871	—
23年3月期第2四半期	27,492	—	92	—	100	—	△92	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	51	35	—	—
23年3月期第2四半期	△5	45	—	—

(注) 1. 23年3月期第2四半期は、22年3月期第2四半期において連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第2四半期	29,736		18,226		61.3
23年3月期	29,826		17,544		58.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 18,226百万円 23年3月期 17,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
23年3月期	—	—	12	00	—	—	12	00	24	00
24年3月期	—	—	12	00						
24年3月期(予想)					—	—	12	00	24	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	54,938	2.2	2,817	432.7	2,800	413.1	1,343	—	79	13

(注1) 当四半期における業績予想の修正の有無：有

#### 4. その他

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	17,268,273株	23年3月期	17,268,273株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	295,785株	23年3月期	295,785株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	16,972,488株	23年3月期2Q	16,972,582株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（2011年4月1日～2011年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災において影響を受けたサプライチェーン、社会インフラの復旧や、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加、雇用の改善もあり景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で欧州の財務不安や米国経済の停滞懸念を背景とした世界的な株安、金融不安が長期化しており、事業環境の先行きについては不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、東日本大震災の影響で、計画停電の実施及び消費マインドの低下が懸念されましたが、牛丼をはじめとしたファストフード業態は堅調に推移し、ファミリーレストラン業態も持ち直しの動きが見られております。しかしながら、8月・9月と大型台風が相次いだことや、焼肉業態の落ち込み等もあり、外食産業全体としては、十分な回復までは至らず、依然、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと当社は、ゼンショーグループのマス・マーチャンダイジング・システムにより安全な食材の確保に努め、質の高いサービスと安全でおいしい「食」を通じてお客様に豊かさと幸せを提供することに取り組むとともに、前期のテレビコマercialを始めとした積極的な販売促進などの効果を活かしながら、売上高の確保による既存店の収益回復に全力で努めてまいりました。

当第2四半期会計期間末の店舗数につきましては、既存店の収益回復を優先課題としていることもあり、直営店舗及びライセンス店舗ともに新規出店はせず、直営店舗で1店舗の閉店を行った結果、560店舗（直営478店舗、ライセンス82店舗）と、前期末と比較し1店舗の純減となりました。

売上高につきましては、既存店のQ.Q.S.C（クオリティー・クイックサービス・クリンリネス）の水準を向上させるとともに、東日本大震災によって被災した店舗の迅速な復旧や、それぞれの地域特性に合った効果的な販売促進などを行った結果、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年比は104.6%と堅調に推移いたしました。

利益面におきましては、既存店売上高の増加とともに、店舗の作業効率の向上等に取り組んだ結果、店舗利益率が大きく改善したことに加え、本部コストの徹底的な見直しや固定費等の削減が進捗し、前年同期と比較して大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高284億77百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益17億94百万円（前年同期比19.3倍）、経常利益17億92百万円（前年同期比17.9倍）、四半期純利益8億71百万円（前年同期は四半期純損失92百万円）と大幅な増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の資産は前事業年度末と比較して89百万円減少し、297億36百万円となりました。これは主に、厨房機器入替等の増加がある一方、閉店1店舗等により有形固定資産が減少したこと等によるものです。

負債は前事業年度末と比較して7億71百万円減少し、115億10百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による減少等によるものです。

純資産は前事業年度末と比較して6億81百万円増加し、182億26百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加等によるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

2012年3月期通期（2011年4月1日～2012年3月31日）の業績予想につきましては、本日2011年11月9日付で公表の「2012年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、業績が堅調に推移したことで、前回予想を大幅に上回る見込みとなりましたので、2011年5月12日に公表いたしました業績予想の修正を行いました。

## 2. その他の情報

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2011年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2011年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,355,370	1,111,872
売掛金	350,100	406,927
商品及び製品	66,912	116,019
原材料及び貯蔵品	334,252	311,071
関係会社短期貸付金	113,749	740,750
その他	1,393,458	1,403,420
流動資産合計	3,613,845	4,090,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,549,523	32,644,858
減価償却累計額	△18,069,929	△18,617,912
建物及び構築物（純額）	14,479,594	14,026,945
機械装置及び運搬具	3,111,312	3,258,821
減価償却累計額	△1,976,773	△2,067,368
機械装置及び運搬具（純額）	1,134,539	1,191,452
その他	5,499,439	5,914,268
減価償却累計額	△2,850,939	△3,203,474
その他（純額）	2,648,499	2,710,793
有形固定資産合計	18,262,633	17,929,192
無形固定資産	557,398	462,134
投資その他の資産		
差入保証金	4,763,972	4,735,298
その他	2,633,119	2,524,774
貸倒引当金	△4,470	△4,470
投資その他の資産合計	7,392,622	7,255,602
固定資産合計	26,212,654	25,646,929
資産合計	29,826,499	29,736,991
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,653,984	1,752,145
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,904,646	2,513,311
未払法人税等	279,387	861,023
賞与引当金	299,366	364,450
その他	2,849,438	3,151,740
流動負債合計	8,286,822	8,642,670

(単位：千円)

	前事業年度 (2011年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2011年9月30日)
固定負債		
長期借入金	2,784,700	1,608,044
退職給付引当金	15,250	16,670
資産除去債務	142,706	144,126
その他	1,052,040	1,098,986
固定負債合計	3,994,696	2,867,827
負債合計	12,281,519	11,510,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,904	3,198,904
資本剰余金	3,014,004	3,014,004
利益剰余金	11,754,258	12,422,173
自己株式	△428,636	△428,636
株主資本合計	17,538,530	18,206,445
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,449	20,048
評価・換算差額等合計	6,449	20,048
純資産合計	17,544,979	18,226,493
負債純資産合計	29,826,499	29,736,991

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
売上高	27,492,427	28,477,945
売上原価	8,664,681	9,056,676
売上総利益	18,827,745	19,421,268
販売費及び一般管理費	18,734,971	17,626,503
営業利益	92,774	1,794,764
営業外収益		
受取利息	18,307	16,475
受取配当金	2,189	2,189
受取賃貸料	203,464	99,605
その他	27,831	20,472
営業外収益合計	251,793	138,743
営業外費用		
支払利息	70,109	46,294
賃貸費用	163,836	90,188
その他	10,477	4,795
営業外費用合計	244,422	141,278
経常利益	100,145	1,792,230
特別利益		
関係会社株式売却益	89,313	—
特別利益合計	89,313	—
特別損失		
固定資産処分損	50,229	5,256
賃貸借契約解約損	—	12,063
災害による損失	—	49,617
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,684	—
減損損失	56,019	50,399
その他	802	5,574
特別損失合計	159,735	122,912
税引前四半期純利益	29,723	1,669,317
法人税、住民税及び事業税	87,525	801,172
法人税等調整額	34,769	△3,439
法人税等合計	122,295	797,733
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92,571	871,584

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	29,723	1,669,317
減価償却費	1,185,040	1,247,203
のれん償却額	9,802	9,802
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,828	65,083
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,450	1,420
減損損失	56,019	50,399
受取利息及び受取配当金	△20,497	△18,665
支払利息	70,109	46,294
固定資産処分損益 (△は益)	31,179	5,256
関係会社株式売却損益 (△は益)	△89,313	—
賃貸借契約解約損	—	12,000
災害損失	—	31,296
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	52,684	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,828	△56,827
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△74,081	△25,925
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,546	98,160
その他	△332,305	402,409
小計	919,360	3,537,228
利息及び配当金の受取額	4,176	3,369
利息の支払額	△71,346	△48,314
法人税等の支払額	△257,766	△226,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	594,423	3,265,787
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△360,698	△549,207
無形固定資産の取得による支出	△17,348	△820
長期前払費用の取得による支出	△12,951	△1,790
関係会社株式の売却による収入	99,313	—
差入保証金の回収による収入	7,217	12,205
差入保証金の差入による支出	△3,026	△4,597
長期前払家賃の回収による収入	—	4,400
長期前払家賃の支出	—	△20,000
その他	60	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,434	△559,738
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△300,000
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,871,888	△1,567,990
リース債務の返済による支出	△186,032	△253,183
配当金の支払額	△200,926	△201,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,558,847	△2,322,545
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,251,858	383,503
現金及び現金同等物の期首残高	3,678,170	1,469,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,426,311	1,852,623



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。